

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度 第2回学校運営協議会
開 催 日 時	令和7年11月10日(火) 午前10時00分 開会・午前12時00分 閉会
開 催 場 所	入間市立豊岡小学校 視聴覚室
議 長 氏 名	土井 章 会長
出席委員(者)氏名	砂田 一・菱 さより・武田 功一・西澤 詩織・浅見 沙織・ 桜庭 昌吾・鈴木 野利子・鈴木 義雄・河村 佳樹・土井 章・ 小林 一夫
欠席委員(者)氏名	森谷 慎平・鈴木 和広・小玉 佳也・水村 美保
説明者の職氏名	砂田 一(豊岡中学校長) 三瓶 孝典(豊岡中学校教頭)
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	〈令和7年度 第2回学校運営協議会〉 1 開会 2 小学校校長あいさつ(菱校長) 3 授業参観 4 熟議「防災の視点から、今豊岡地区に必要なものは何か」 5 入間市教育委員会との質疑応答 6 閉会 公開・非公開の別 全て公開
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0 人
配 布 資 料	資料1 次第
事務局職員職氏名	教頭 村野元裕
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

〈令和7年度 第2回学校運営協議会〉

- 4 熟議「防災の視点から、今豊岡地区に必要なものは何か」
 - (1) 豊岡中学校より昨年度熟議による、不登校対応の様子について説明した。
豊岡中学校 砂田一校長
 - (2) 熟議
 - ・各校ごとに3グループに分かれ、話し合いをした。
 - ・各グループで話し合ったことを全体で発表、共有した。
 - (3) 豊岡中学校教頭より、あらためて、不登校対応の詳細について説明した。
豊岡中学校 三瓶孝典教頭
- 5 入間市教育委員会との質疑応答
入間市教育委員会担当指導主事が公務により途中退席したため、行わなかった。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
土井	あいさつ
砂田	○豊岡中学校の不登校対応の様子について 東町地区センター長の鈴木様の協力を経て、2学期から本格的に活動している。1学期は試用期間とした。 東町地区センターで活動しているサークルの方に来ていただいている。 場所は図書室を活用。9月は毎日対応できた。10月もほとんどの日で対応できた。今後も引き続き、活動していく。見学に来て大丈夫。
小林	質問 月初めに予定を連絡していなくても、突然行って手伝っても大丈夫か。また、必ず朝から言ったほうが良いのか。
砂田	教頭に連絡をもらえれば、調整するので大丈夫。時間も来てもらえる時間で大丈夫。
土井	○熟議内容についての説明 「防災の視点から、今豊岡地区に必要なものは何か」 ① 防災の視点から課題や問題点を考える ② そのためにできることは何かを考える 今日、この場で結論が出なくても大丈夫です。
小林	豊岡地区の小中学生について考えるのか。
土井	小中学生中心だが、大きくとらえても構いません。 熟議（40分）
土井	共有の前に、昨年度の熟議「不登校対策」について、豊岡中学校の三瓶教頭が来たので、もう少し詳しく話をさせていただこうと思います。
三瓶	今年度、東町地区センターで活動しているサークルの方が来てくれています。毎月、予定を確認して調整しています。 1学期は試行期間で、2学期から本格的に活動しています。 場所は図書室、現在活動してくれている方は5名、それぞれ月に3、4回程度来校してくれています。 ボランティアの方も、生徒もお互いにだいぶ慣れてきているようです。 ご協力ありがとうございます。
浅見	○共有 （豊岡小学校） 9月にPTA主催の防災宿泊訓練を実施した。幼稚園児から大人まで40名くらいが参加した。 消防署、警察署、市役所に協力を依頼した。 各種体験をしたり、防災アドバイザーの講義を聞いたりした。

発 言 者	発 言 内 容
西澤	豊岡小学校の防災倉庫の中身を確認した。 (豊岡中学校) 子どもたちが学校にいるとき、震度6強の地震が来たと想定した。生徒は保護者に引渡となると、引き取りに出来なかった生徒のために、アルミブランケットやポータブル電源、保護者との連絡手段の確保が必要である。 生徒にも体験が大切である、自治会の訓練などに参加することも大切。
河村	(高倉小学校) 子どもの目線で考えた。 津波の心配はないが、水害が心配な地域がある。 帰宅困難の児童と教師がいる。職員のリーダーや高学年児童の活用が必要。日頃から、市教委なども大人だけでなく児童にも防災意識を育てることが必要。 緊急時は、体育館以外に、特別教室の開放も必要になるかもしれない。入間基地があることから、地盤は大丈夫と考える。
土井	この時間でまとめるのは難しい。来年度につなげていければと思います。 地域との連携・子ども主体・自主的な防災訓練など、最終的には市に取り組んでもらいたい。市ができないときには学校単位での対応も。 地域との交流について、近隣助け合い活動推進委員の活動の中で防災についての活動もある。私は担当地区が黒須高倉地区である。豊岡小中は豊岡第2地区なので担当の方のご協力が必要。 このような活動を、今年は無理でも来年度やってみてもよいか。
桜庭	防災交流会について、豊岡第1地区も来年度からやろうと考えている。
土井	防災交流会の目的は、防災に役立つことよりも、8割以上は地域との交流が目的である。
桜庭	学校には募集の協力をお願いしたい。先生方の参加については働き方改革もあるので難しいかもしれない。
土井	平日に体育館で行い、そこに児童に来てもらい体験してもらってもよいかもしれない。
議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 7 年 11 月 20 日 議 長 の 署 名 <u>土井 章</u>	